

長野経済研究所プレスリリース ～消費動向調査結果(2025 年年末調査)～ 県内消費者が選ぶ今年の漢字は、「高」

本調査は、来年の消費動向を見通す参考として、景況感や消費意識に関わるテーマについて、県内世帯を対象に実施した。

調査結果のポイント

<県内消費者の今年を表す漢字一文字>

1 位は「高」

- ・ 2025 年を表す漢字一文字は、1 位は「高」、2 位は「米」と「耐」、4 位は「忍」、「苦」となった。1 位の「高」は、食料品をはじめとして物価高が続いたことに加えて、高市早苗氏が史上初の女性首相に就任したことも理由にあるとみられる。
- ・ 上位の漢字は昨年と同様の傾向にあるが、その中で、全国的なコメ不足もあり、「米」がランクインした。また、人身被害が急増した「熊」も 9 位にランクインしている。

<今年印象の強かった出来事>

- ・ 1 位は「全国的にクマによる人への被害が拡大 (11 月)」、2 位は「高市早苗氏が初の女性首相に選出される (10 月)」、3 位は「JR 長野駅前で男女 3 人が刃物で襲われ、1 人が死亡 (1 月)」となった。

<世の中の景気の見方>

- ・ 25 年の世の中の景気は「悪化した」と回答した割合が 6 割を超えた。

<自身の生活(家計)の見方>

- ・ 25 年の自身の生活(家計)は「悪化した」と回答した割合が半数を超えた。

<来年流行しそうな商品・サービス>

- ・ 来年流行しそうな商品・サービスは、AI アプリや AI を搭載した家電など、AI を使った商品やサービスが多く挙げられた。次いで、コメなどの主食やチョコレートといった値上がりが続く食料品関連が多く挙げられた。

～ 調査からみる 25 年の振り返りと 26 年の展望 ～

- ・ 25 年の消費者の消費行動は、物価上昇の影響を引き続き受け、「高」、「米」、「耐」、「忍」、「苦」といった漢字が引き続き上位を占めた。また、2 位にランクインした「米」にみられるように、食料品をはじめとした物価上昇は、他の漢字に影響を与えているとみられる。
- ・ 26 年も、景気や家計についての厳しい見通しの割合が多いが、来年の景気については 24 年年末調査に比べ「改善する」とした回答割合が上昇している。今後、政府による景気刺激策により消費マインドが持ち直すかが注目される。また、AI を活用した新たなサービスや製品の登場によって生活がさらに便利になるのでは、という期待感が高いこともうかがえた。

<お問い合わせ先>

一般財団法人長野経済研究所 電話：026-224-0501
担当：調査部 主任研究員 中林 武

【調査の概要】

「消費動向調査」アンケート実施概要

調査時期： 2025 年 11 月下旬

調査対象： 長野県内在住の消費者 600 名

回答属性： 性別 男性 55.7 % 女性 44.3 %

年代

20 代以下	100 名
30 代	100 名
40 代	100 名
50 代	100 名
60 代	100 名
70 代以上	100 名

調査方法： インターネット調査

※四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。

＜県内消費者の今年を表す漢字一文字＞

◆ 1位は「高」

- 25年を表す漢字一文字は、「高」が最も多かった。食料品をはじめとして物価高が続いたことに加えて、高市早苗氏が史上初の女性首相に就任したことも理由にあるとみられる。次いで「米」、「耐」、「忍」、「苦」などとなった（図表1）。物価上昇を背景に、日々の生活でさまざまなストレスを感じるが多かったとみられる。
- 上位の漢字は昨年と同様の傾向がみられたが、2位に「米」がランクインした。コメの値上がりが生活に与える影響の大きい年であったことがうかがえる。また、クマが人間の生活圏に出没し、全国的に人身被害が発生していることから、「熊」も9位にランクインした。

図表1 今年を表す漢字一文字（上位20字）

順位		漢字	回答割合(%)	
25年	24年		25年(n=600)	24年(n=2,797)
1↑	2	高	6.00	5.04
2↑	-	米	4.00	0.89
2↑	3	耐	3.67	4.29
4↑	5	忍	3.50	3.75
4↓	1	苦	3.50	4.29
6↓	4	変	3.33	4.08
7↑	17	無	3.00	1.18
8↑	10	病	2.33	1.86
9↑	-	熊	1.83	0.04
9↑	13	金	1.83	1.39
9↑	7	疲	1.83	1.29
12↓	6	忙	1.67	3.07
12↑	-	新	1.67	0.89
14↓	6	幸	1.50	0.86
14↑	-	楽	1.50	1.29
16↑	-	税	1.33	0.54
16↑	9	暑	1.33	1.93
18↓	17	悪	1.17	1.18
19↓	-	貧	1.00	0.72
20↓	15	悩	1.00	1.25
20↑	-	改	1.00	0.21

（注）矢印は24年と比べた順位の変化を表す

「-」は、24年の順位が21位以下

（参考資料）漢字一文字（年代別）

年代	ランキング1位の漢字	年代	ランキング1位の漢字
20代	変	50代	高
30代	無	60代	高
40代	耐	70代以上	高

＜今年印象の強かった出来事＞

◆ 1位は「全国的にクマによる人への被害が拡大（11月）」

- ・ 25年で印象の強かった出来事は、1位が「全国的にクマによる人への被害が拡大（11月）」で回答割合は43.2%だった。次いで「高市早苗氏が初の女性首相に選出される（10月）」（40.7%）、「JR長野駅前で男女3人が刃物で襲われ、1人が死亡（1月）」（39.3%）などとなった（図表2）。

図表2 全国で印象の強かった2025年の出来事（上位15項目）

順位	出来事	(%)
		回答割合 (n=600)
1	全国的にクマによる人への被害が拡大(11月)	43.2
2	高市早苗氏が初の女性首相に選出される(10月)	40.7
3	JR長野駅前で男女3人が刃物で襲われ、1人が死亡(1月)	39.3
4	コメの価格高騰を抑制するために、農水省が備蓄米を放出(5月)	32.3
5	埼玉県八潮市でトラック1台が道路の穴に転落する陥没事故が発生(1月)	26.7
6	大阪・関西万博が開幕、世界160以上の国・機関が参加(4月)	22.8
7	2025年に値上げを予定する食品が2万品目を超える(11月)	20.7
8	大谷翔平選手が4度目のMVP受賞(11月)	16.7
9	米大リーグのドジャースがワールドシリーズで優勝(11月)	13.5
10	石破茂政権・与党の参議院選挙で苦戦、自民党が少数与党に転落(7月)	12.8
11	ミスタージャイアンツの長嶋茂雄氏が死去(6月)	11.5
12	都心で猛暑日10日連続など、全国で記録的な猛暑を観測(9月)	10.5
12	日経平均が5万円を突破し、過去最高値を更新(10月)	10.5
14	米大リーグマリナーズなどで活躍したイチロー氏が野球殿堂入り(1月)	7.8
15	岩手県大船渡市での大規模山林火災が発生(2月)	6.3

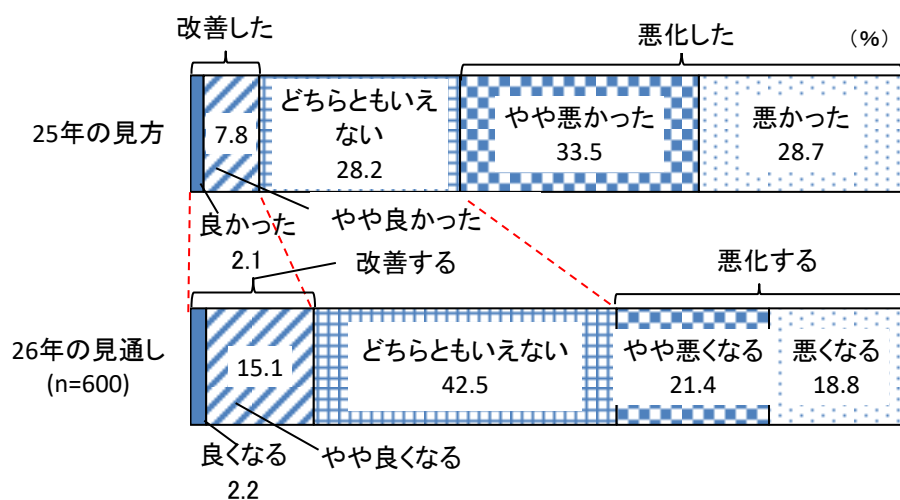
（注）5つまでの複数回答

<世の中の景気の見方>

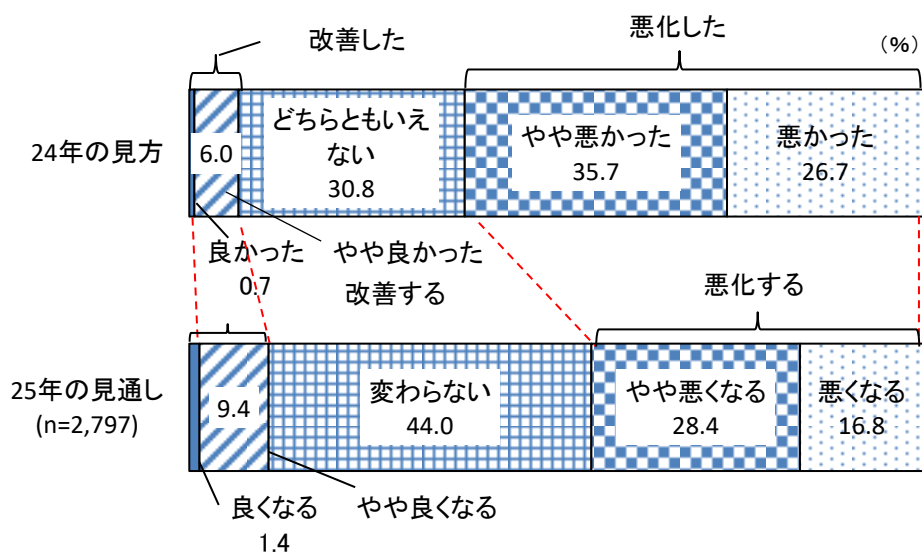
◆ 25年の世の中の景気は「悪化した」と回答した割合が6割を超えた

- 25年の世の中の景気については、「悪化した」（「やや悪かった」＋「悪かった」）と回答した割合が62.2%と6割を超えた（図表3）。
- 26年の見通しは、「悪化する」（「やや悪くなる」＋「悪くなる」）が40.2%と、「改善する」（「良くなる」＋「やや良くなる」）の17.3%を大きく上回った。

図表3 世の中の景気の見方



(参考資料) 2024 年年末調査結果

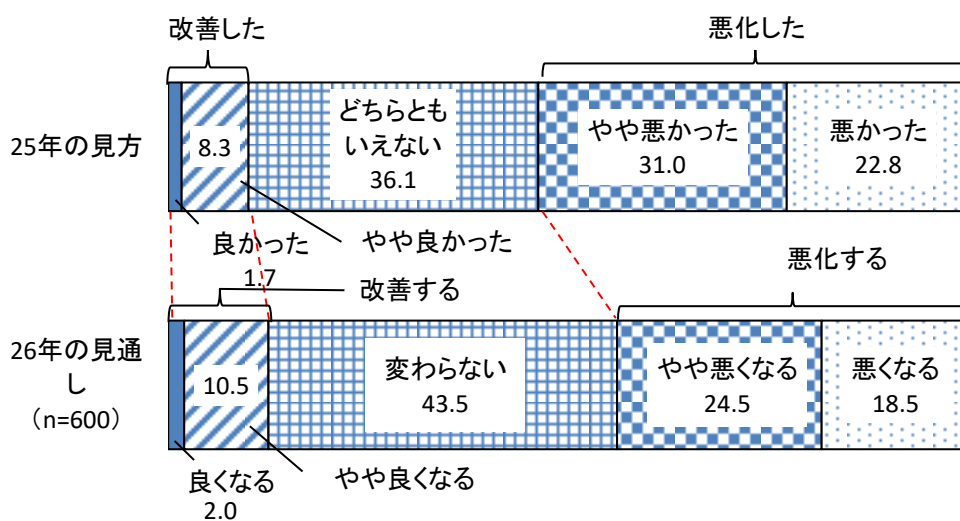


＜自身の生活(家計)の見方＞

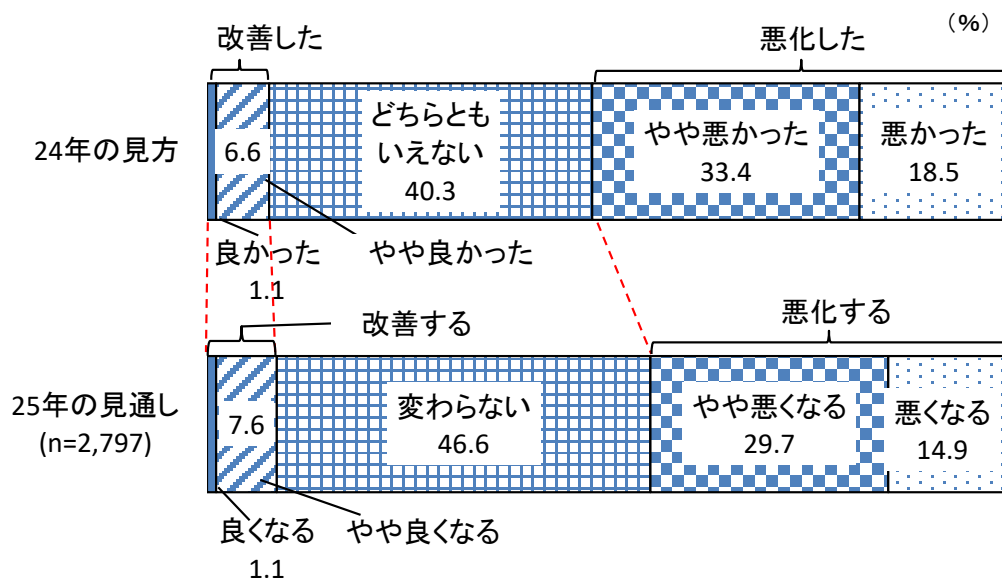
◆ 25 年の自身の生活（家計）は「悪化した」と回答した割合が半数を超えた

- ・ 25 年の自身の生活（家計）は、「悪化した」（「やや悪かった」＋「悪かった」）と回答した割合が 53.8%と半数を超えた（図表 4）。
- ・ 26 年の見通しは、「悪化する」（「やや悪化する」＋「悪くなる」）の回答割合が 43.0%と、「改善する」（「良くなる」＋「やや良くなる」）を 12.5%を大きく上回った。

図表 4 自身の生活（家計）の見方



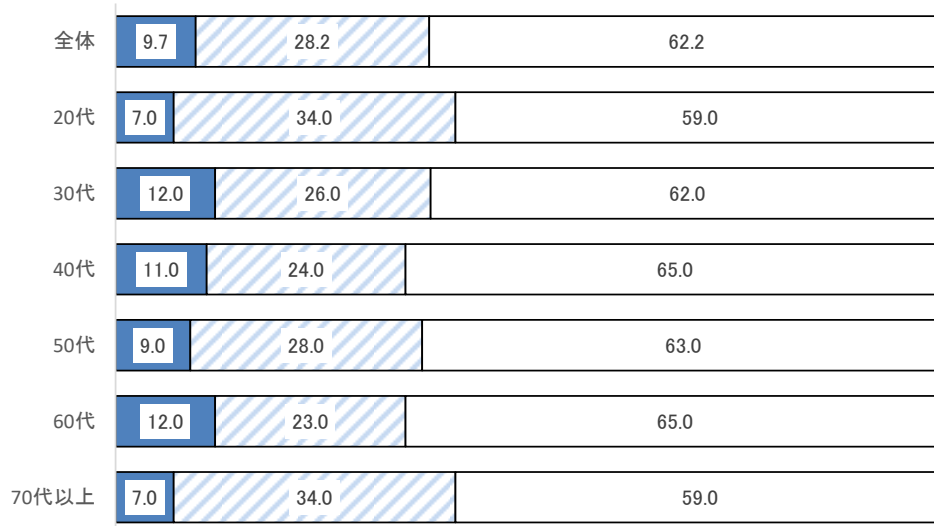
（参考資料）2024 年年末調査結果



＜参考＞世の中の景気の見方（年代別）

25 年の見方（年代別）

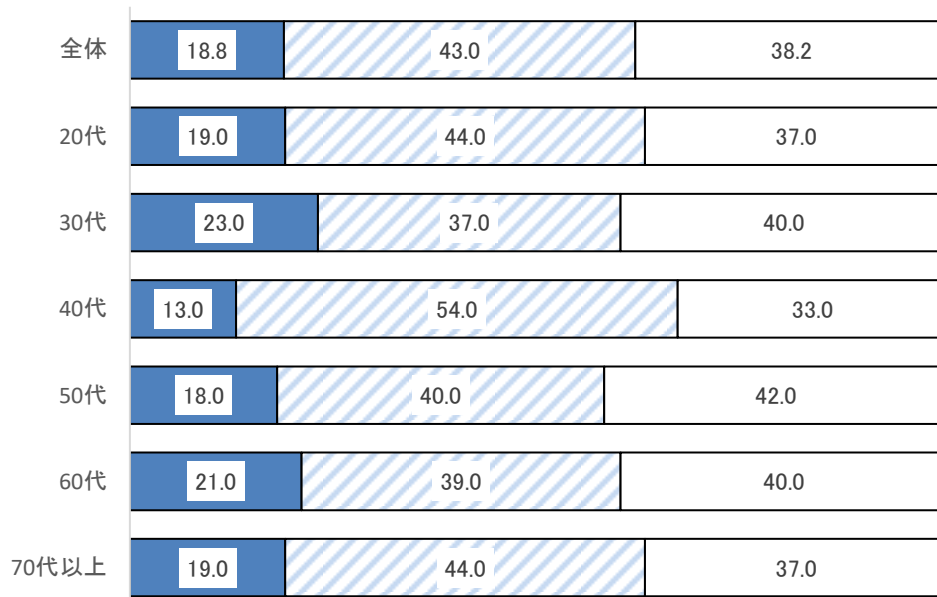
■良かった □どちらともいえない □悪かった



注)良かった(「良かった」+「やや良かった」)、悪かった(「やや悪かった」+「悪かった」とした。

26 年の見通し（年代別）

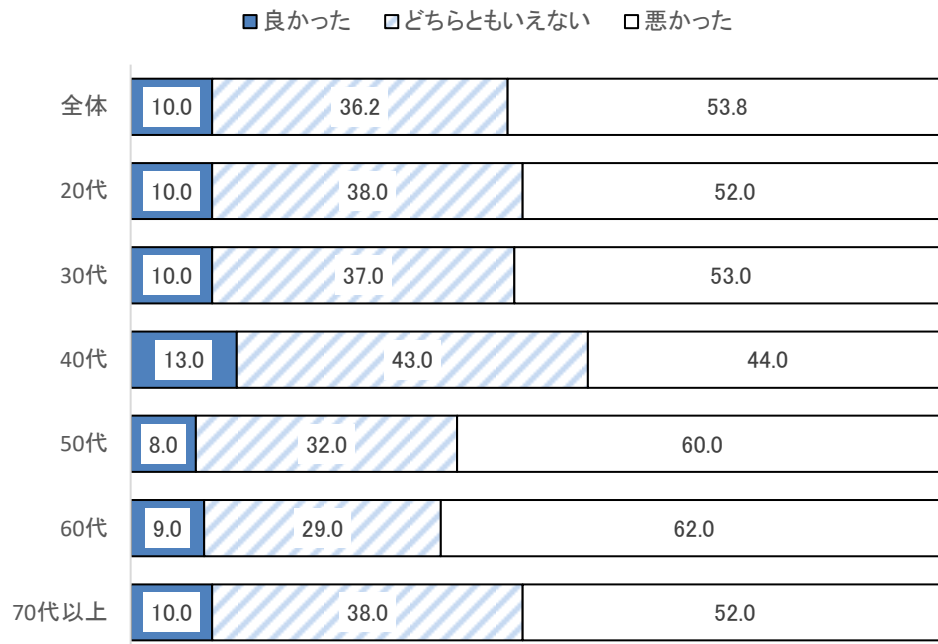
■良くなる □どちらともいえない □悪くなる



注)良くなる(「良くなる」+「やや良くなる」)、悪くなる(「やや悪くなる」+「悪くなる」とした。

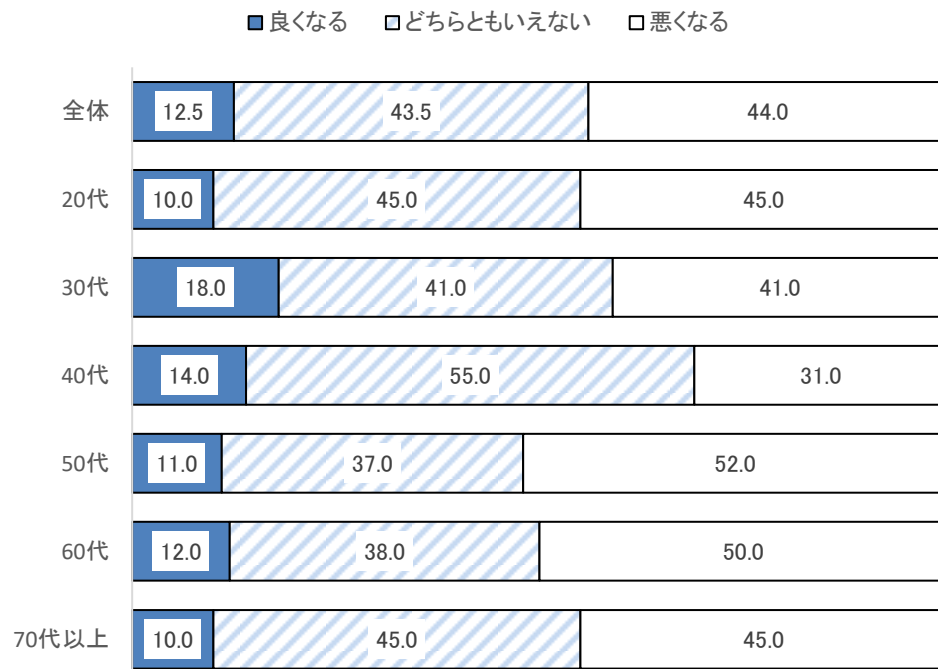
<参考>自身の生活（家計）の見方（年代別）

25 年の見方（年代別）



注)良かった(「良かった」+「やや良かった」)、悪かった(「やや悪かった」+「悪かった」とした。

26 年の見通し（年代別）



注)良くなる(「良くなる」+「やや良くなる」)、悪くなる(「やや悪くなる」+「悪くなる」とした。

＜来年流行しそうな商品・サービス＞

◆ 来年流行しそうな商品・サービスは AI 関連・食品関連

- ・ AI に関連したものは、ChatGPT や学習支援など「実務サポート」と AI を搭載した家電や AI ロボットなど「生活支援」の大きく 2 つの傾向がみられた。
- ・ 食品の分野では、冷凍食品や代替食品など時短ニーズや、高い国産米の代わりとして安価な輸入米といった価格高騰への対応を映じたものがみられた（図表 5）。

図表 5 来年流行しそうな商品・サービスの具体例

分野	品目	具体例
AI	アプリ	ChatGPT、動画作成、ファクトチェッカー、AI アニメアイドル
	サービス	AI カウンセリング、学習支援、ドラマなど生成動画
	製品	AI を搭載した家電、AI ロボット
食品	米	カリフォルニア米などの輸入米
	チョコレート	カロリーオフ、カカオ不使用、ドバイチョコ
	弁当	冷凍食品、おべんと PON
	代替食品	コメ、チョコレート、コーヒーなどで低価格な代替食品
エンタメ・スポーツ	アニメ	鬼滅の刃、名探偵コナンなど
	スポーツ	WBC、サッカーワールドカップなど
サービス	無人	自動運転バス、無人店舗、宅配サービス、スマート決済サービス
	近未来	空飛ぶ 1 人乗りドローン
その他	グッズ	熊鈴などクマよけ、暑さ対策（人やペット）

以 上